

## 38. 肝胆膵領域における 3DCT

### の有用性

第一外科

小鷹紀子 小森俊昭 小林謙之

目的：肝胆膵癌の術前診断における 3 次元 CT angiography(3D CTA)の有用性について血管造影検査の画像とも比較し評価した。

対象と方法：膵癌 6 例，胆管癌 4 例，胆嚢癌 1 例，肝癌 1 例を対象に術前検査の一環として 3D CTA を用いて病巣の範囲，脈管侵襲の有無，および脈管走行を評価をした。

結果：膵癌の主要血管への浸潤を認めた 3 例のうち 2 例は術前 3DCTA で評価でき，血管の合併切除および血行再建を安全に行うことができた。また，肝癌の 1 例を含め，病巣の立体的広がりを連続性に把握することに有効であり，手術操作のよいガイドとなった。

## 40. 急性大動脈解離症に対する人工血管置換術後に発症した Purtscher 様網膜症の 1 症例

獨協医科大学越谷病院眼科

忍田栄紀、松本行弘、伊勢武比古、筑田眞

目的：急性大動脈解離症に対する人工血管置換術を施行後に Purtscher 様網膜症を呈した症例を経験したので報告する。

症例：47歳男性で、急性大動脈解離症に対して上行大動脈人工血管置換術を施行後10日目から両眼視野欠損を自覚した。術後14日目の初診時、両眼視神経乳頭近傍を中心とした後極部に多発性綿花状白斑、軽度網膜出血が認められた。蛍光眼底撮影では綿花状白斑に一致した網膜血管閉塞による低蛍光が存在し、網膜神経線維層解析装置にて網膜神経線維層にひ薄化が認められた。術後約3ヵ月後に綿花状白斑、網膜出血は消失した。

考按：本症例では多発性梗塞の結果と推測される網膜神経線維層のひ薄化があり、本網膜症発症の要因として、急性大動脈解離による循環障害、急性大動脈解離術後凝固能亢進下での微小血栓による網脈絡膜血管の閉塞等が考えられた。